

① 最高責任者がいないSWOT分析は無意味

戦略を検討する場に最高責任者が不在では効果がない。

そもそも戦略と言うのは、経営者クラスの専権事項であり、役員や管理職の任せる次元の問題ではない。その戦略次第で、企業の将来や不沈が左右されるのだから当然であろう。

中小零細企業や小規模事業所では**経営者の積極的参画が条件**になる。

子会社や事業部のように、ある程度、職務権限が認められているなら、担当役員クラスが最高責任者になる。

仮に最高責任者が不在で、SWOT 分析検討会をした結果を考えてもらいたい。

議論の過程を知らない最高責任者に、また一から説明する事になり、その結論に至った背景を知らない責任者は恐らく納得せず、提案した戦略を否定するかも知れない。

単に「未来への提案」程度の主旨なら、それでも構わないが、本格的な事業構造の見直し、中期ビジョンの確立、事業計画の根拠などの目的であれば、そんないい加減な進め方はおかしくなる。

私も責任者が不在の SWOT 分析を数回指導した事がある。

ご多分に漏れず、皆で決めた戦略や行動対策が、そのうち雲散霧消してしまった経験が数回ある。

SWOT 分析検討会に参加していない経営者から、自分達が真剣に考えて出した戦略が認められず、逆に文句を言われたとしたら、参加した幹部の立つ瀬はない。